

さぎなみ

＜ミッション＞ 私たちは、自閉症を中心とした知的障がい者の明るい未来を開くため、総力を上げて支援を行います。

＜ビジョン＞ 豊かな自然の中で、社会に生きる障がい者の良きパートナー（隣人）として、利用者とともに歩み続けます。

社会福祉法人清水基金 『文化芸術特別助成事業』 「陶芸環境設備が整った」

この度「社会福祉法人清水基金」より文化芸術活動の助成として、陶芸電気窯と電動ろくろ2台購入の助成金を受けることができましたのでご報告いたします。

当学園の陶芸クラブの歴史は古く、灯油窯を開園当所より使用してきました。しかし長年使用していることで幾度となく機械トラブルがありその度に修理をしてきましたが、数年前に故障してしまい使用不可となりました。

そのため、現在はクラブの講師をしていた井口峰幸先生のご支援で、千葉県指定伝統工芸品である大多喜焼きを制作している「工房阿弥陀窯」に作品の焼成をお願いしていました。

クラブ活動の中で、意欲的に製作している利用者さんの姿を見て、作品の成形から焼成までの一連の流れを自分たちで出来るように再度、陶芸設備を整えたいと思いました。助成の決定から電気炉導入工事の施工が進むにつれ利用者さんからは完成を楽しみにしている声や笑顔が見られるようになりました。そして、今までは手びねりで作品を制作していましたが、今回電動ろくろを設置したことで作品の幅が広がって想像力を発揮し、より楽しく活動できるようになりました。

今回整備した陶芸電気窯と電動ろくろを利用者さんと共に大切に使用し、陶芸クラブの芸術活動を頑張っていきたいと思っています。

最後にご協力頂いた社会福祉法人清水基金様、施行会社の渡邊電設様、たちばな陶芸機材様にご心より感謝申し上げます。

（生活支援員 篠崎 俊克）



初めての電動ろくろ



個性あふれる作品が出来上がります



一度に沢山の作品が焼成可能となりました



晩夏に想うこと

社会福祉法人 榎の里 理事長 岡部 一 邦

地球温暖化の影響か、まだまだ酷暑の日々が続いておりますが、季節は巡り園庭の芙蓉が清楚な花を開く候となりました。17日間に亘って熱戦が繰り広げられたパリ・オリンピックでは日本選手団の活躍に毎日喝采をあげておりましたが、日本の若人の逞しさに、何か安堵する思いがいたしました。

長い間苦しめられた新型コロナウイルスは、感染法上インフルエンザ並の5類に変更されて以降、感染者情報もめつきり少なくなつてしまいました。コロナウイルスはその後変異を続け、現在は「KP3」を呼ばれる変異株による感染者が増加していて、第11波が起こっているようです。感染者の症状は「大部分は軽症だが、重症化リスクがあれば要注意」であり「抗体をすり抜ける特性を持つため感染者が拡大している」とのことです。

学園では4度に亘るクラスター発生を経験してきましたので、その知見に基づき、今後も感染対策の万全を期して参ります。

ところで利用者の皆さんの高齢化が一層進行する中で、健康管理や日常のADLの維持には様々な課題が顕在化しております。そうした中で、利用者Iさんは、長年のてんかん重積発作の影響からか認知能力が急速に低下し、入退院を繰り返していましたが「向後症状改善は期待できず、経常的な医

療管理が必要なため、学園での生活は困難」との主治医で学園の嘱託医の診断があり、先生と親御さん、学園の責任者の三者で相談を重ねた結果、介護療養型医療施設に転院されることとなり、利用契約は解除となりました。

Iさんの支援に当たっては、看護師をはじめ全職員が、全身清拭や定時体位交換など、懸命な看護に努めてきましたので、大変残念な結果であり、「終の住処」を目指している学園にとりましても重い判断を迫られることとなりました。

今後、こうした事例に正対することになるかと思いますが、「終の住処」として、出来得る限りの努力を続けることは当然のこととして、「利用者の皆さんの命を守るために、そしてQOLを最善に確保していくためにどうすべきか」を真剣に判断していきたいと考えます。

ところで、前号でもお知らせしました「40周年記念式典」を12月に開催することといたしました。

これを機に、これまでの利用者との歩みを振り返り、利用者処遇の更なる充実に向けて努めて参りますので、皆様のご支援・ご協力をお願いいたします。



上半期を終えて

支援課長 軽 込 進 一

令和六年度の上半期ともいえる四か月間が経過した中で、利用者の現況などを報告したいと思います。

第一に健康面についてです。利用者の高齢化に付随する中で通院件数も大幅に伸びていますが、ささいな変化から重症化に移行するケースが増えています。職員は日常的な観察の中から異常を確実に見つけ出して、医務に報告し通院に結び付けてくれています。その異常は「食欲が普段とは異なる」「微熱が繰り返され、体力が消耗しているように見える」などといった小さなものです。しかし通院してみると尿路感染であったり、血液検査の数値に異常が出たりして入院が必要とされるケースが見られています。また入院中の担当医の見解として、療養型病床などに移行した方がよいのではないかと勧められることも散見するようになりました。もちろん退院して日中活動に戻すことができてはいますが、一回の入院に伴って、体力が回復しないことも事実として上げられます。このような状況において、やはり日常からの利用者の変化を見逃さないこと、引継ぎをしっかりと行うこと、医務や栄養士などの他職種とも連携を取るこの重要性を痛感します。今後も継続して自分で訴えることのできない利用者の健康維持に努めていきたいと考えています。

次に民間企業での請負除草作業についてです。昨年度から請負を開始しており、初年度ということもあって試験的に数名の利用者参加にとどめてきましたが、今年度から本格的に地域活動班の参加を始めました。作業内容としては万木城址公園作業と大きな変わりはなく、除草した草木の片づけと清掃作業です。地域活動班のメンバーにとつては慣れている作業ということもあり、ほとんど混乱することなく作業を行うことができています。利用者にとつても会社側から感謝のお言葉や差し入れもいただき、とても充実した活動内容となつていると思います。

最後に安全カメラの導入です。利用者の動向確認の基本は職員による直接支援になります。しかしながら交替勤務の中では利用者の動向のすべてを確認することは難しく、今までも見えない場所での事故はいくつか報告されてきました。これらに対処するために共有部分での安全カメラの運用は行われており、実際に支援に活かすことにつながってきました。今回は居室にも安全カメラを導入することで、より利用者が安全かつ健康に暮らせるように運用を進めていきたいと考えています。先にも上げましたが、利用者の高齢化並びに健康観察の重要性は増していきます。運用に関してはこれらの目的に寄与できることを期待しています。

福祉サービス第三者評価

いすみ学園では「東京都福祉サービス第三者評価」を毎年受審しています。これは、第三者の目から見た評価結果を幅広く利用者や事業者に公表することにより、利用者に対する情報提供を行うとともに、サービスの質の向上に向けた事業者の取り組みを促す事で、利用者本位の福祉の実現を目指すものです。今年度は「株式会社ハッピーネットワーク」に依頼し七月十六日、十七日に利用者調査が実施されました。九月十七日には経営層・管理職への聞き取り調査も行われ、これらの調査結果は「とうきょう福祉ナビゲーション」にて後日公表されます。福祉サービスの質の向上、利用者主体の支援のために今後も毎年受審していきます。

(支援主任 岩瀬祐三子)



防災について

今年元旦に能登半島地震が起き、七月には東北地方で大雨が起きるなど、各地で災害が起きています。私たちも何時被災してもおかしくない状況になっています。

学園では利用者と職員の命を守る為にも、地震や火災などで被災した事を想定しながら避難訓練を行っています。また、被災した場合にも円滑に支援を行なえるよう、常日頃から防災の意識を持つていなければいけません。

その為の訓練の一つとして七月二十七日には炊き出し訓練、八月十一日には初期消火訓練を行いました。実際にこのような事が起こらないよう願います。

(防災担当 長田 圭司)



初期消火訓練



炊き出し

電車見学day

沢山の方のご支援によって蘇ったデハ3455を、是非大勢の皆様に見てもらいたいという目的で、六月二十九日(土)に電車見学dayを開催しました。当日は雨上がりの蒸し暑さが残るなかでしたが、学園坂道の紫陽花がとても綺麗でした。電車を見てもらい、いすみ学園も知ってもらいたいという思いから、学園製品も販売しました。

ホームページとSNSのみの告知でしたが、初めて電車に乗るというお子様や、この電車を見るために遠方から来てくれた方などで、予想以上に賑わいました。

デハ3455を通じて、沢山の方と繋がるよう、今後もイベントを計画していきたいと思っています。

(支援主任 吉田 友希)



8月23日(金)花火大会を開催

今年も保護者会の協力で美しい花火が園庭と夏の夜空を彩りました。

花火師となった職員のセンスで映画「スターウォーズ」のメインテーマをバックミュージックに流しながら、緩急をつけた打ち上げ花火でより一層盛り上がりました。

また、保護者会からは美味しいアイスの差し入れもいただき、皆さん夜のひと時を存分に楽しみました。





大多喜城

グループ実習班



6/7(金) ボーナス外出



万木1班

そば処川岸
(白子町)



万木2班

九十九里
ヴィラソトぼう
(いすみ市)



地域活動班

メキシコ
記念塔
(御宿町)



外作業班

椿公園
(いすみ市)



海ほたる
(東京湾アクアライン)

食品加工班



石けん班

キサラピア
(木更津市)





第37回槇の里祭

今年のテーマ 「感謝」

会場: いすみ学園園庭(いすみ市万本22)
駐車場: 万木区民センター※送迎バスあり

ステージイベント

国吉中吹奏楽部演奏・ジャンボリズムキー
 外房チアリーディングクラブ・中の島太鼓
 お楽しみ抽選会など、楽しいイベントがたくさん!

赤い羽根共同募金・学園製品展示販売・各種模擬店
 近隣施設、地域商店、地域企業販売
 キッチンカー(caf'e BOBA・焼き芋)・バザーなど
 ※バザーは感染症対策及び混雑回避のため、
整理券 を配布させていただきます!

日時
10月26日(土)
10:30~14:00
 ※小雨決行・雨天順延
 順延の場合
10月27日(日)に順延

お問い合わせ
社会福祉法人槇の里
いすみ学園
連絡先: 0470-86-3412

バザー商品提供のお願い

皆様が楽しみにしているバザーを今回も体育館で行います。ご家庭で眠っている不要なものがありましたらバザー品としてご寄付いただきますよう御協力お願いいたします。

- 募 集 内 容**
- ◎新品の食器・陶器類・台所用品・衛生用品
 - ◎日用雑貨・文房具・寝具・石鹸類
 - ◎書籍(絵本・漫画本・文庫本等)=百科事典は不可
 - ◎子供用品・おもちゃ・ぬいぐるみ・ゲームソフト(美品)
 - ◎ハンドメイド・アクセサリ類

※衣類・靴・バッグなどは、新品もしくはそれに準ずる物に限らせていただきます。

※硝子に入った人形はお受けできません。

※宅配便(元払い)伝票には「バザー品」とご記入ください。

受付期日 10月15日(火)15時まで持ち込み可能

ボランティアさん募集

槇の里祭の実施に多くの人出を必要としますので、ボランティアに興味のある方、ぜひともご協力をお願いします。

内 容: 会場設営・商品の販売・会場の撤収・駐車場の整備など

集合時間: JR大原駅→8時40分

車の方(万木区民センター)→8時45分

募集締切: 9月30日まで

お申し込み先・お問合せ先 TEL: 0470-86-3412
 槇の里祭ボランティア担当: 末吉・會津

夏祭り

七月二十五日(休)に夏祭りが開催されました。今年も交流ホームで利用者さんと職員だけの開催で、盆踊りタイムとおやつタイムの二部構成で進められました。まずは職員有志によるお囃子が始まり、利用者を代表してMさんの開会の言葉で夏祭りがスタート。総勢十五名程で担がれたお神輿が櫓の周りをぐるりと三周して一気に会場が夏祭りの雰囲気になりました。職員お手製の車椅子ごと乗れる山車がお神輿に続きます。特大団扇で仰ぐ方も居て夏祭りを一層盛り上げました。お神輿のあとは太鼓大会。保護者会から寄贈された太鼓や小太鼓を曲に合わせて叩き、皆さん思い思いに楽しんでいました。盆踊りでは「いすみ音頭」「炭坑

節」「東京音頭」を踊りました。長年の経験と練習の成果で皆さんとても上手です。

一部で身体を動かして楽しんだ後は、二部のおやつタイム。今年もレオックさんのご協力のもと、「からあげ」「たこ焼き」「じゃがバター」「ミニフランク」「フルーツ飴」「冷やしきゅうり」「ソフトクリーム」と盛りだくさんの屋台メニューが用意されました。水鉄砲で射的ができるゲームコーナーや夏祭りのフォトスポットもあり、心もお腹も満たされたようです。

最後は職員有志の「ヨッチョレ」で大いに盛り上がり、夏祭りは幕を閉じました。真夏の猛暑真つ只中の開催でしたが利用者さんのたくさん笑顔を見ることが出来ました。

(支援主任 岩瀬祐三子)



令和 5 年度 社会福祉法人 槇の里 決算報告

貸借対照表

令和 6 年 3 月 31 日 現在

(単位：円)

資 産 の 部	
科 目	金 額
流動資産	515,202,417
現金預金	448,962,336
事業未収金	59,130,421
未収補助金	7,043,660
1年以内振替長期前払費用	66,000
固定資産	631,539,482
基本財産	357,002,406
土地	108,353,723
建物	248,648,683
その他の固定資産	274,537,076
建物	44,445,165
構築物	17,026,630
車両運搬具	2,221,181
器具及び備品	17,797,895
権利	111,300
ソフトウェア	1,857,533
退職給付引当資産	31,137,212
修繕費積立資産	16,000,000
施設整備等積立資産	102,200,000
建設積立資産	41,570,000
長期前払費用	104,500
その他の固定資産	65,660
資産の部合計	1,146,741,899
負 債 の 部	
科 目	金 額
流動負債	50,619,871
事業未払金	11,899,313
職員預り金	5,668,558
賞与引当金	33,052,000
固定負債	31,137,212
退職給付引当金	31,137,212
負債の部合計	81,757,083
純 資 産 の 部	
科 目	金 額
基本金	276,311,079
基本金	276,311,079
国庫補助金等特別積立金	162,045,122
国庫補助金等特別積立金	162,045,122
その他の積立金	159,770,000
修繕費積立金	16,000,000
施設整備等積立金	102,200,000
建設積立金	41,570,000
次期繰越活動増減差額	466,858,615
次期繰越活動増減差額 (うち当期活動増減差額)	466,858,615 7,033,008
純資産の部合計	1,064,984,816
負債及び純資産の部合計	1,146,741,899

資金収支計算書

自 令和 5 年 4 月 1 日 ～ 至 令和 6 年 3 月 31 日

(単位：円)

科 目	予 算	決 算	差 異
事業収入	429,775,000	429,392,454	382,546
障害福祉サービス等事業収入	6,789,000	6,955,424	▲166,424
経常経費寄附金収入	4,000	6,773	▲2,773
受取利息配当金収入	18,135,000	17,905,679	229,321
その他の収入			
事業活動収入計	454,703,000	454,260,330	442,670
事業活動支出	296,510,000	297,578,423	▲1,068,423
人件費支出	73,625,000	72,007,342	1,617,658
事業費支出	63,468,000	62,589,401	878,599
事務費支出			
事業活動支出計	433,603,000	432,175,166	1,427,834
計	21,100,000	22,085,164	▲985,164
施設整備等補助金収入	1,600,000	1,744,430	▲144,430
施設整備等寄附金収入	6,735,000	6,735,000	0
施設整備等収入計	8,335,000	8,479,430	▲144,430
固定資産取得支出	29,447,000	20,521,800	8,925,200
その他の施設整備等による支出	2,135,000	2,277,134	▲142,134
施設整備等支出計	9,603,000	10,173,356	▲570,356
施設整備等資金収支差額	▲1,268,000	▲1,693,926	425,926
積立資産取崩収入	0	1,560,780	▲80
その他の活動による収入	33,000	37,680	▲4,680
その他の活動収入計	33,000	1,598,460	▲1,565,460
積立資産支出	12,283,000	12,282,980	20
その他の活動支出計	12,283,000	12,282,980	20
計	▲12,250,000	▲10,684,520	▲1,565,480
予備費支出	7,582,000	0	7,582,000
当期資金収支差額合計	0	9,706,718	▲9,706,718
前期末支払資金残高	487,861,828	487,861,828	0
当期末支払資金残高	487,861,828	497,568,546	▲9,706,718

事業活動計算書

自 令和 5 年 4 月 1 日 ～ 至 令和 6 年 3 月 31 日

(単位：円)

科 目	金 額
事業収益	429,392,454
障害福祉サービス等事業収益	6,955,424
経常経費寄附金収益	17,814,695
その他の収益	
サービス活動収益計	454,162,573
人件費	303,696,623
事業費	72,007,342
事務費	62,655,401
減価償却費	28,435,321
国庫補助金等特別積立金取崩額	▲13,471,819
サービス活動費用計	453,322,868
計	839,705
受取利息配当金収益	6,773
その他のサービス活動外収益	90,984
その他の収益	37,680
サービス活動外収益計	135,437
その他のサービス活動外費用	2,277,134
サービス活動外費用計	2,277,134
計	▲2,141,697
経常増減差額	▲1,301,992
施設整備等補助金収益	1,744,430
施設整備等寄附金収益	6,735,000
特別収益計	8,479,430
国庫補助金等特別積立金積立額	144,430
特別費用計	144,430
計	8,335,000
当期活動増減差額	7,033,008
前期繰越活動増減差額	469,825,607
当期繰越活動増減差額	476,858,615
その他の積立金取崩額	10,000,000
次期活動増減差額	466,858,615

私がこの本を選んだのは、初心に返り、自閉症という障がいを感じて、理解し、支援へ繋げていきたいなと思ったからです。

通常の認識ですが、自閉症は社会性の障がいであり、その中でも言語性のコミュニケーションに難しさを抱えることが多く見られます。

記述の中で、自閉症の方は視覚情報に優位であるという特性があり、絵カードや構造化を活用する事で、混乱が少なく意思疎通が可能になるという事が上げられていました。この点は私も仕事をの中で利用者のイライラやパニックを回避する上で、有効であると感じています。また、ついつい言いがちな「ダメ」「やめなさい」等の否定的な指示ではなく、具体的に、さらに褒める、頷く等の肯定的な言葉と態度が、自発的かつ自信を持った人間形成に有効であるという事も確認することができました。

この本を読んで、個人差はありますが、自閉症というハンディキャップを再考する機会となりました。

(生活支援員 秋葉 智子)

「自閉症の正しい理解と最新知識」を読んで

図書コーナー

次の皆様方から、たくさんのお寄せを頂きました。厚く御礼申し上げますと共に、今後とも尚一層の御協力をお願い致します。(順不同 敬称略)

〔寄附物品〕

・菊地薫・内田駿之介・愛恵苑山口管理栄養士・阿部栄子・大森あきら・土屋正治・内田陽子・和田京子・森健・山脇和廣・山脇弘子・エカート・日本支社堀口・土屋好江・山沖美佐江・佐藤美恵子・鈴木総明・西内恭子・アンカー・ジャパン・鎮目真記・平なおこ・今美知江・斉藤みね子・三菱重工冷熱・千葉営業所・石野薬局・江戸川区育成会・米本工務店・(有)岬サービス・関口智也・みずほ学園・(有)西川・田辺将基・みどり産業・江澤徳子・(有)新清ハイツ・松本設備工業(有)・小林悟・星野未来・(有)ビーアイエー・内山重浩・毛塚泰元・伊藤晴子・皆川会計事務所・ピア宮敷・伊大知眞澄・(有)新環境設計・飯干順正・小林貴大・やまよ農園・(有)トリー・北山静香・座間由美子・(有)高山商店・(有)ナンカイ・御園和子・(有)東基・匿名希望二名

編集後記

度重なる、地震や台風、またコロナ第11波など、まだまだ気の抜けない日々が続いておりますが、利用者の方々の明るい未来を開くため、職員一同「ワンチーム」で精進して参ります。(さざなみ担当 末吉・土屋・是枝)

題字は 西村雅子 さんです。

感謝録